

平成 25 年 5 月 9 日

各位

会社名 富士機械製造株式会社
代表者名 代表取締役社長 曾我 信之
問合せ先 ハイテック事業本部営業技術部部长
今井 美津男
電話 (0566) 81-8263

新製品発表に関するお知らせ

富士機械製造株式会社は、NXT II のコンセプトを継承し生産性や実装品質をさらに高めた実装機、モジュール型高速多機能装着機「NXT III (ネクスト・スリー)」を開発しました。

スマートフォンなどのモバイル端末、カーエレクトロニクスに代表されるように、多機能かつ高性能な電子機器が急速に普及しています。これらの電子機器は製品のライフサイクルが早く、量産への対応とともに短期間での生産立ち上げが必要とされ、基幹部品となる電子回路基板の実装工程においても高い生産性と品質が要求されています。

基板実装ラインにおいて、当社のモジュール型高速多機能装着機「NXT」シリーズは、高密度実装基板を高い品質で効率よく生産するための実装プラットフォームとして、全世界で40,000モジュールを超える出荷実績があり、世界中のお客様に高く評価いただいております。

このたび「NXT III」として、さらにワンランク上の実装機に生まれ変わりました。

製品の特長

(1) 生産性の大幅な向上

XY ロボットとテープフィーダの高速化、そして新たに開発した「フライングビジョンカメラ」により小型部品から大型異形部品まですべての部品に対して部品装着能力が向上しました。

また、新型高速ヘッド「H24 ヘッド」により、1モジュールあたりの部品装着能力は35,000CPH*となり、NXT II から約35%の向上を達成しました。

* CPH : 1時間あたりに装着可能な部品点数。Chip Per Hour。

(2) 業界トップクラス*の装着精度

従来機種に比べさらに剛性を増した装置構造、独自のサーボコントロール技術と部品画像認識技術により、小型チップ部品の装着精度 $\pm 25 \mu m^*$ (3σ) $Cpk \geq 1.00$ を達成しました。

* 2013年4月現在の当社調査によります。

* 当社条件下での測定によります。

(3) 03015 部品*の対応

今後ますます部品の小型化がすすみ、さらなる高密度実装への取り組みが必要となります。NXT III では、現状の生産で使用されている部品では最小となる 0402 部品*はもちろんのこと、次世代の超小型部品である 03015 部品の実装にも対応します。

* 03015 部品：素子サイズ 0.3mm×0.15mm の電子部品。

* 0402 部品：素子サイズ 0.4mm×0.2mm の電子部品。

(4) 操作性の向上

NXT シリーズにて高く評価されておりましたグラフィックユーザーインターフェースを採用した言語によらない直感的な操作体系を継承しつつ、タッチパネルを新たに採用し画面デザインを変更しました。これにより、操作性の向上と操作ミスの削減を実現しました。

(5) NXT II との高い互換性

NXT II で使用されていた、主要なユニットであるヘッド、ノズルステーション、フィーダやトレイユニットなどの部品供給ユニット、デバイスパレットやデバイスパレット一括交換台車などは、そのまま NXT III にて使用することができます。

(6) 自動化・省人化への取り組み

新興国においても人件費の急激な上昇が懸念されており、自動化や省人化への取り組みが重要な課題となっております。当社は 2013 年 3 月にリリースしたオートヘッドクリーナをはじめとして、NXT シリーズに対応する様々な自動化・省人化に寄与するユニットのリリースを今後予定しております。

「NXT III」は、初年度 300 モジュール/月、次年度 500 モジュール/月の出荷を目指し、国内定価は 5,000 万円前後（4 モジュール）より 2013 年 9 月から受注開始します。